

大雨による通信サービスへの影響について(第2報)

1. 通信サービスの状況

現在発生している大雨に関し、NTT西日本が提供する通信設備に異常は発生しておりません。

* ただし、お客様宅への引込線の断線等により、電話やインターネットがご利用できない場合があります。

一部の地域においては通信サービスの開通工事等を延期させていただきます。開通工事ができなかったお客様におかれましては、後日改めてご連絡させていただきます。

一部地域で停電となつてはありますが、NTT西日本の設備は予備電源にて稼働しており、給電設備があるお客様は、引き続き通信サービスをご利用いただくことが可能です。給電設備がない場合は、別紙のとおり、一部の通信サービスがご利用できなくなります。

2. 各種支援措置

(1)「災害用伝言ダイヤル(171)」及び「災害用伝言板(web171)」

大阪北部地震より引き続き、被災地域の方々の安否状況等の確認手段として「災害用伝言ダイヤル(171)」および「災害用伝言板(web171)」を使用いただけます。

- ① 災害用伝言ダイヤル(171) <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>
- ② 災害用伝言板(web171) <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/index.html>

* 「災害用伝言ダイヤル(171)」は、電話サービスを提供する各通信事業者の協力により運営しています。詳細は下記ホームページ等でご確認ください。
http://www.ntt-west.co.jp/dengon/communication_companies.html

(2)Wi-Fi サービスの無料開放

NTTメディアサプライ株式会社が提供する Wi-Fi サービス「DoSPOT」及び自治体が提供する公衆 Wi-Fi を、大阪府と京都府、北九州市の一部エリアで無料開放しております。対象サービス、開放エリア等の詳細は同社ホームページをご覧ください。

http://www.nttms.co.jp/news/news_dospotwi-fi-4.html

<http://www.do-spot.net/newsrelease/2018/07/dospotwi-fi-5.html>

(3)避難所への通信手段の確保

現在、自治体等の要望に基づき、特設公衆電話^{※1}／Wi-Fi^{※2}の設置を進めております。

※1 特設公衆電話の通話料金等については、http://www.ntt-west.co.jp/open/sonota/tokusetu_ryoukin.html を参照願います。

※2 ISP 事業者(インターネット・サービス・プロバイダー)等のご協力のもと、無料でご利用いただける公衆 Wi-Fi サー

ビスです。(利便性向上のため暗号化通信は行っていません。個人情報等秘匿性の高い情報を通信することは
お控えください。)

(本件に関する報道機関からのお問い合わせ先)

NTT西日本 広報室
電話(06)4793-2311

【別紙】

停電に伴う通信サービスへの影響について

停電発生時には、以下のとおり、一部の電話・通信サービスがご利用できなくなります。ご注意をいただきますようお願い致します。

1. 通信サービスへの影響

停電中は、お客様にて給電設備がない場合、発着信または接続ができなくなる主なサービスは、以下のとおりです。

(1) 電話系のサービス

- ・ ひかり電話
- ・ INSネット
- ・ 加入電話の一部^(注1)

(注1) ご家庭やオフィスの電源コンセントへ接続してご利用いただいている電話については、ご利用いただけない場合があります。(コードレスホン、FAX、ビジネスホン、PBX(構内交換機)等)

(2) インターネット系のサービス

- ・ フレッツ光
- ・ フレッツ・ADSL
- ・ フレッツ・ISDN
- ・ フレッツサービスをアクセスラインとする付加サービス 等

(3) 映像系のサービス

- ・ フレッツ・テレビ

(4) ビジネス系のサービス

- ・ ビジネスイーサ
- ・ 専用線
- ・ フレッツサービスをアクセスラインとする付加サービス

2. 停電中の通信手段について

停電対象エリアにお住まいの方で、停電により、電話系のサービスのご利用ができない場合は公衆電話^(注2)、携帯電話等、他の通信手段をご利用ください。

(注2) 停電時においては、テレホンカードによる通話はご利用いただけません。なお、硬貨による通話についても、グレーの公衆電話機においては、内蔵バッテリーが枯渇した場合は、ご利用いただけません。(緊急通報はご利用可能です。)

3. その他

- ・ 停電復旧後に通信ができない場合は、一旦通信機器等の電源を切ってから、再度電源を入れると回復する場合があります。
- ・ PBX 及びビジネスホンについては、停電になる前に電源を切り、給電開始後に電源を再投入することをお勧めします。(装置内に保有するバッテリーが枯渇し、放電された状態となり、再度電源を投入しても起動しない恐れがあるため)